

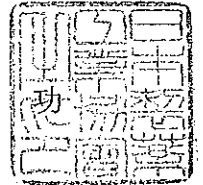
製薬協発 第 187 号

平成 25 年 3 月 21 日

日本医師会 会長 横倉義武殿

日本医学会 会長 高久史麿殿

日本製薬工業協会 会長 手代木



日本医師会・日本医学会からの要望について（回答）

日頃より当協会の事業及び製薬産業の活動にご支援を賜り厚く御礼申し上げます。さて、本年 2 月 1 日に開催されました医学関連 COI 問題協議会でのご議論を踏まえてご要請のありました 2 月 26 日付の要望書につきまして、弊協会の理事会、総会で検討を重ねた結果、次の通り回答いたしますので何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

なお、第 2 回医学関連 COI 問題協議会におきまして強く要望されました項目 A の研究開発費につきましても、適正な産学連携の推進のための情報公開の在り方について、積極的に検討を進めて参ります。

記

【 要望 1 について 】

- ① 透明性ガイドライン項目 C に係る情報公開方式（いわゆる二段階方式）の一段階目については、平成 25 年度から情報公開を実施するとのこれまでの基本方針に基づき、予定通り実施に移す。
- ② 情報公開方式の二段階目については、関係者への更なる理解促進のための広報周知活動の必要性等を考慮し、平成 26 年度から公表することとする。
- ③ 情報公開を実施するに当たり、日本製薬工業協会は関係諸団体との緊密な連携のもとに、関係者への制度の周知徹底のための広報・理解促進活動に今後とも最大限の努力をする。
- ④ 以上を、第 2 回医学関連 COI 問題協議会において確認のうえ公表する。

【 要望2について 】

企業側としては、情報公開の推進の観点から要望の趣旨に基本的に賛同するものですが、これを円滑に行うためには、全ての学会でのCOI指針の策定や、学会側からの広報活動等も必要であると考えますので、このような環境整備につき是非ご配慮いただきたい。

以上